

患者の意向を尊重した意思決定のための相談員研修会 アンケート結果（抜粋）

開催日時：令和元年 11 月 10 日（日）9:00～17:30

受講者数：47 名

1 受講者について

（1）勤務先

1. 大学病院	0人
2. それ以外の500床以上の病院	7人
3. それ以外の500床未満の病院	29人
4. 診療所	6人
5. 訪問看護ステーション	—
6. 老人保健施設	—
7. 特別養護老人ホーム	—
8. その他	4人
未回答	1人

（2）職種

1. 看護師	22人
2. ソーシャルワーカー	7人
3. 医師	14人
4. 薬剤師	—
5. 歯科医師	—
6. 栄養士	—
7. PT・OT・ST	1人
8. その他	4人

（3）自分の人生が限られていることを自覚している患者さんと、これからの治療・ケアについて話し合うことについて、どの程度自信をもって実践することができますか？

	研修会前	研修会后
1. 全く自信がない	5人	—
2. 自信がない	2人	—
3. やや自信がない	16人	6人
4. どちらともいえない	13人	14人
5. やや自信がある	7人	10人
6. 自信がある	2人	3人
7. とても自信がある	0人	—
未回答	2人	13人

2 研修内容について

今回の研修は以下の点で役に立ちましたか。

(単位:人)

	役に立たなかった	あまり役に立たなかった	少し役に立った	役に立った	とても役に立った
1. 医学知識を学ぶことに・・・	—	4	5	16	18
2. 意思決定支援のプロセスを体系的に学ぶことに・・・	—	—	1	14	28
3. 倫理の原則を学ぶことに・・・	—	—	5	14	23
4. 法的知識を学ぶことに・・・	—	1	5	17	20
5. 倫理的なものの考え方を理解することに・・・	—	—	5	18	20
6. 他者の面接の良い点を取り入れることに・・・	—	—	2	15	26
7. 自分の面接の改善点に気づくことに・・・	—	—	2	18	23
8. コミュニケーションの引き出しを増やすことに・・・	—	—	3	17	22
9. 違う価値観を持つ人の意見を調整することに・・・	—	—	3	19	21
10. 倫理原則を意思決定支援にどう活用するかを学ぶことに・・・	—	—	3	19	21
11. 医学的な有益性と患者にとっての有益性の違いを理解することに・・・	—	—	7	14	22
12. 医学的に最善なことと、患者の意向が乖離する場合の話し合いの手順を学ぶことに・・・	—	—	4	16	23
13. 意思決定支援の原則と手順を言語化し、整理することに・・・	—	—	4	17	22